

平成18年度厚生労働省老人保健推進費等補助金事業報告書

認知症の人へのサービス提供のための
インフォームド・コンセント実施に関する指針と
教育システム開発に関する研究事業

報 告 書

平成19年 3 月

認知症介護研究・研修センター
(大府・東京・仙台センター)

目 次

抄録	3
第1章 調査研究事業の概要	
I. 研究事業の目的	7
II. 研究事業計画	7
第2章 インフォームド・コンセントに関する介護支援専門員へのグループインタビュー調査	
I. 研究の背景及び調査の目的	13
II. 調査方法	13
III. 結果と考察	14
IV. まとめ	19
第3章 認知症の人の介護保険サービス利用時の説明に関する意識調査	
I. 研究の背景及び調査の目的	23
II. 調査方法	23
III. 調査結果と考察	27
IV. 考察	55
付録1. 認知症の人へのケアプラン内容説明に関する意識項目	58
付録2. 各項目の平均得点	64
付録3. 配布したアンケート用紙	70
第4章 認知症の人の介護保険サービス利用のための判断能力尺度開発	
I. 研究の背景及び目的	81
II. 昨年度の研究事業における議論	81
III. 本事業における意思能力評価スケール開発	82
IV. 項目の抽出方法	86
V. 手引きの作成	89

第5章 インフォームド・コンセントシート開発のための調査	
Ⅰ. 調査目的	101
Ⅱ. 調査方法	101
Ⅲ. 調査結果	103
Ⅳ. 考察	118
第6章 判断能力評価尺度開発のための検討委員会報告	
Ⅰ. 検討委員会概要	125
Ⅱ. 認知症の人の判断能力評価尺度開発のための検討委員会	
第1回検討委員会議事録	131
第2回検討委員会議事録	134
第3回検討委員会議事録	138
第4回検討委員会議事録	142
第7章 研究事業総括	147

抄 録

【研究目的】本研究事業では、アルツハイマー病をはじめとした認知症の人本人への介護保険サービス提供に際しての説明と同意（インフォームド・コンセント）を適切に実施するために必要な判断能力の評価スケール及びその利用マニュアルを開発し、もってサービス提供者に対するインフォームド・コンセントに関する教育実習システムを開発していくことにある。

【研究方法】平成18年度においては、介護保険サービス利用のための判断能力評価尺度を作成するための基礎調査の一環として、介護支援専門員にグループインタビューを実施する。また、認知症の人への介護保険サービス提供時の説明と同意のあり方に関する意識について全国の介護支援専門員に対し郵送法によるアンケート調査を実施する。加えて、検討委員会を組織し、同尺度の素案を作成したうえで、現場の介護支援専門員らの協力してもらい、素案を用いて、説明内容に対する利用者の理解を評価する調査を実施する。

【結果】グループインタビューでは、サービス利用体験を通じたサービス内容の理解の重要性や、介護支援専門員との関係性の重要性の工夫に関する意見があった。意識調査では、介護支援専門員の中でも認知症の人に説明を行うことにあまり必要性を感じていない群の特性から、説明を行うことを阻害する要因の示唆を得た。

介護保険サービス利用のための判断能力評価尺度の作成においては、昨年度における検討委員会での議論、先行研究及び実態調査結果やグループインタビューの結果をふまえ検討委員会で検討を行い、判断能力評価尺度の素案「インフォームド・コンセントシート」を作成した。また、インフォームド・コンセントシートを実際の介護支援専門員に使用してもらい利用者が説明された内容を理解しているか否かについて評価してもらう調査を実施した。結果、理解の評価項目をみると、十分理解、一部理解、理解困難の3つの評価項目に対し、ある特定の項目に評価が集中せず、併別された。また、利用者の理解状況を評価する項目を得点化し総合得点を算出し、同得点と外的基準として設定した改訂長谷川式簡易知能評価スケールとの相関係数を算出したところ、同スケールの得点との強い相関が認められた。

来年度については、インフォームド・コンセントシートの作成を継続する。また、同シートの実施マニュアルを作成したうえで、実践現場における実施効果の検証を行う。